

大宮駅周辺における交通結節点の考え方

1. 大宮駅周辺の開発計画等状況図
2. 大宮駅の路線バス・高速バス 現在の状況
3. 交通結節点の考え方(案)
4. まちづくり・交通結節点の考え方(案)
5. 備えるべき機能
6. 東日本の玄関口となる「大宮」
7. 交通結節点で主に導入が想定されるモビリティ
8. モビリティポートの適切な配置・まちづくりとの連携
9. 将来の行動ストーリー
10. 貨客混載、新幹線物流の概要
11. 防災機能の概要

-
- 大宮駅前の主な商業施設**
- ※現時点で更新計画なし
- 市宮桜木駐車場
(敷地活用)
- 大宮駅西口地区
- DOM丸井
- 大宮駅東口大門町2丁目中地区
- 大宮駅西口第3-A・D地区
- 大宮駅西口第3-B地区
- 大宮鐘塚B地区
- 大宮鐘塚C地区
- 大宮駅西口第四地区
- 新都心西IC
- さいたま新都心駅
- さいたま新庁舎移転
- JR埼京線・新幹線
- JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線
- 凡例**
- 首都高速
 - 国道(開通区間)
 - 国道(事業中)
 - 国道(未事業)
 - 一般県道、主要地方道(開通区間)
 - 一般県道、主要地方道(事業中・未事業)
 - 市道(開通区間)
 - 市道(事業中・未事業)
- ※ 県道及び市道は
主な路線のみ表示
- 上位・関連計画等 対象エリア**
- 都市再生緊急整備地域
 - 大宮駅周辺地域戦略ビジョン
 - 大宮駅GCS化構想(ターミナル街区)
- 大宮駅西口周辺整備区域**
- <実施済み>
- 市街地再開発事業
 - 土地区画整理事業
- <実施中・実施予定>
- 市街地再開発事業
 - 土地区画整理事業
- <検討中・未実施>
- (街区再整備を含む)
- 500 m
- ©NTTインフラネット
- ©NTT InfraNet, Maxar Products, ©Maxar Technologies.

2. 大宮駅の路線バス・高速バス 現在の状況

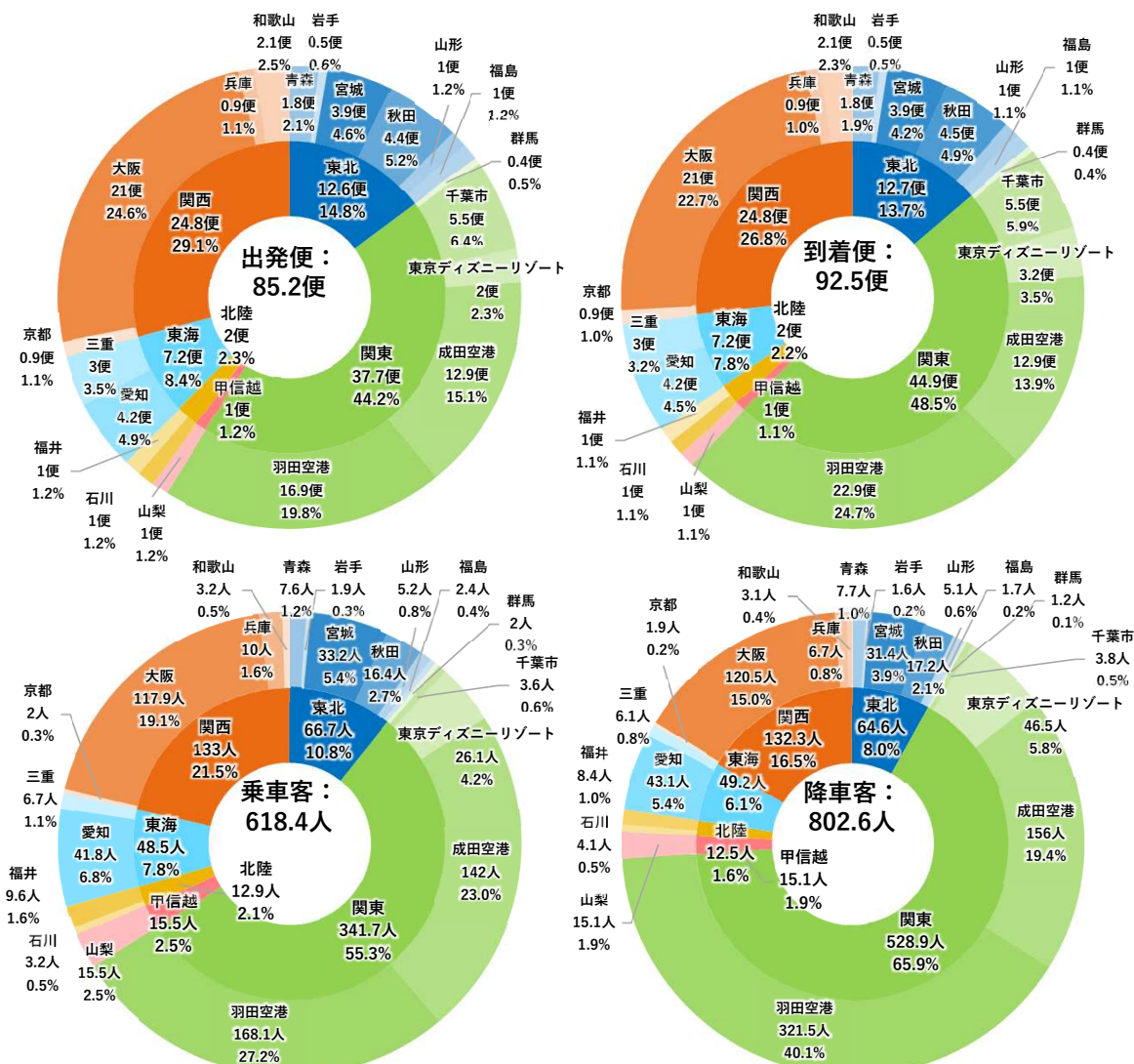
2

- 大宮駅の東西には路線バスと高速バスの乗降場が点在しており、合計で24箇所の乗降場が存在する。
- 大宮駅を発着する高速バスは、成田空港や羽田空港を結ぶ空港便のほか、大阪などを結ぶ関西便が特に多く、利用者数も集中している。

乗降場図



大宮駅を発着する高速バス便数・利用者数



路線バス乗降場の様子



高速バス乗降場の様子

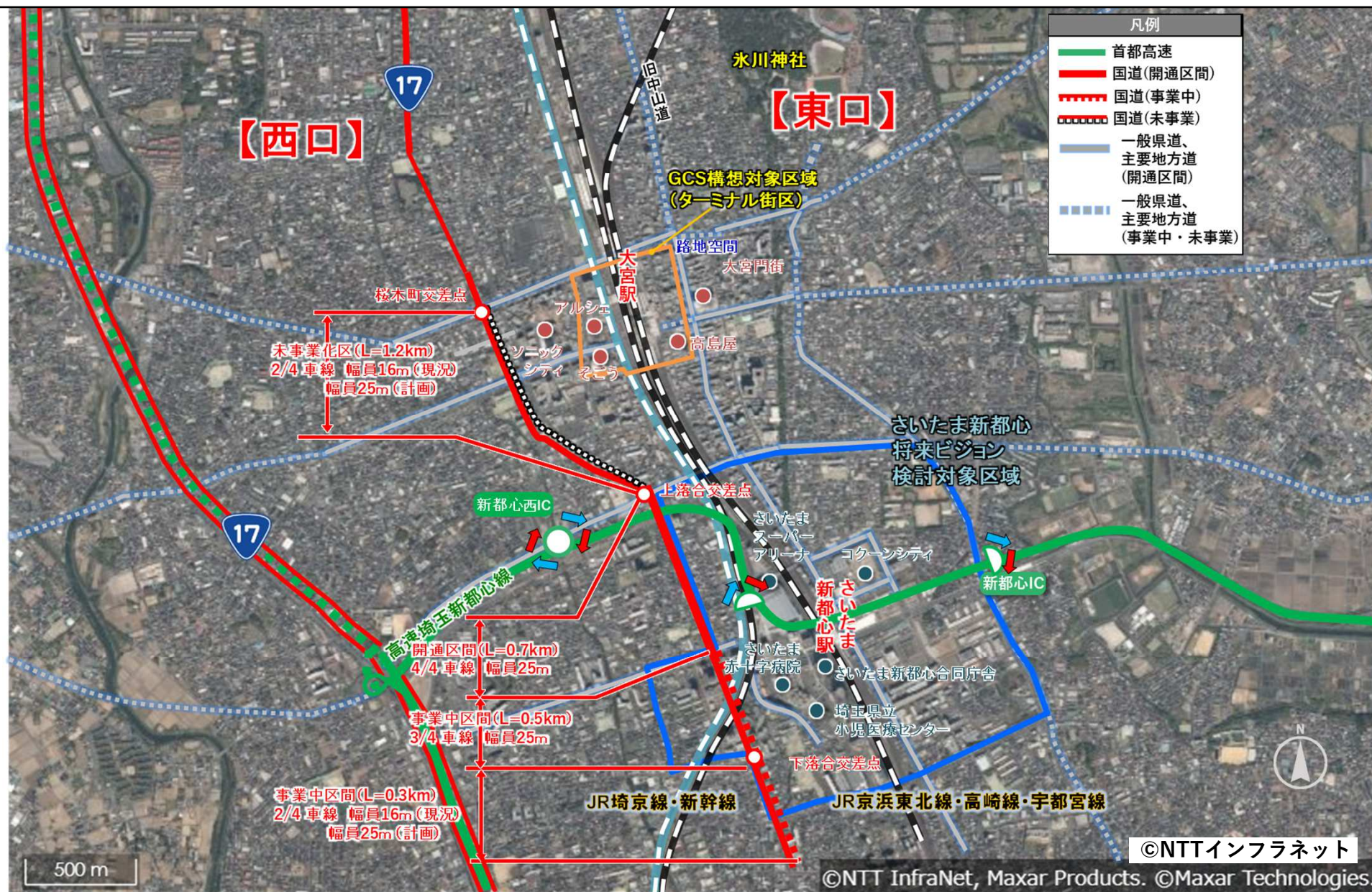
写真: 大宮国道事務所

提供: 大宮国道事務所 2020年度実施のバス事業者アンケート調査結果より
2019年の運行便数・利用者数(1年分のデータを1日平均で算出)

3. 交通結節点の考え方(案)

3

- 大宮駅・さいたま新都心駅周辺について交通結節点を検討するにあたり、現況および将来土地利用計画、まちづくり計画、道路ネットワーク（現況・計画）との接続、鉄道駅とのアクセス等を考慮した検討が必要。
- 交通結節点の検討にあたっては、その機能として交通結節機能に加え、交流等機能、防災機能を発揮することも想定の上で議論する必要がある。



4. まちづくり・交通結節点の考え方(案)

4

- 東日本の玄関口として相応しいまちづくりを進めるため、大宮駅GCS化構想や大宮駅周辺地域戦略ビジョン等と一体となり、駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備、駅機能の高度化を三位一体で進める。
- 大宮駅東口・西口、さいたま新都心駅との適切な機能分担のもとで、さいたま市及び交通事業者等と緊密に連携を図り、将来まちづくり計画全体として議論を深め一体的な計画作りを目指す。



5. 備えるべき機能

5

- 大宮駅西口、さいたま新都心駅周辺の**既存インフラ**と、**交通拠点整備**を含めた**新たなまちづくり**とを融合させることで拠点性を高め、東日本の玄関口としての役割を果たす。
- 大宮駅西口に備えるべき機能は、「**交通機能**」「**交流機能**」「**サービス機能**」「**防災機能**」の4つを基本として考える。



ターミナル化（バスタ新宿）（写真提供：東京国道事務所）



バスターミナルのイメージ（韓国_ソウル）（写真提供：ピクスタ）



総合インフォメーション（写真：大宮国道事務所）



お土産店（写真：大宮国道事務所）

- ・ 新たなモビリティと配車システムの実装
- ・ 鉄道から他モードへの乗り換え利便性向上
- ・ 大宮駅、さいたま新都心駅との連携
- ・ GCS構想との連携
- ・ バリアフリー動線の確保

サービス機能

- ・ 玄関口としての総合インフォメーションの充実
- ・ 東日本全体の交通や観光等の情報発信
- ・ 快適でわかりやすい待合空間
- ・ ホテルや休憩施設等の充実

大宮駅西口 交通拠点整備

交通機能

交流機能

防災機能

- ・ さいたま新都心駅との連携
- ・ デッキレベルで駅とまちをシームレスにつなぐ歩行者ネットワークの整備
- ・ 貨客混載等による東日本各都市との連携
- ・ 周辺まちづくりとの連携
- ・ 国際交流拠点の形成

- ・ 避難動線、一時滞留場所の確保
- ・ 防災備蓄倉庫の整備
- ・ 東日本各県への支援拠点
- ・ 災害発生時のエネルギー供給機能
- ・ 有事の際の関係省庁間の連携



歩行者ネットワーク（大宮）（写真提供：UDCO）



イベントの実施（バスタ新宿）（写真提供：東京国道事務所）



TEC-FORCE（写真提供：関東地方整備局）



防災備蓄倉庫のイメージ（写真提供：ピクスタ）

首都圏広域地方計画

東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出プロジェクト ～東日本の玄関口機能を果たし、スーパー・メガリージョンを支える対流拠点の創出～

【目的とコンセプト】（一部抜粋）

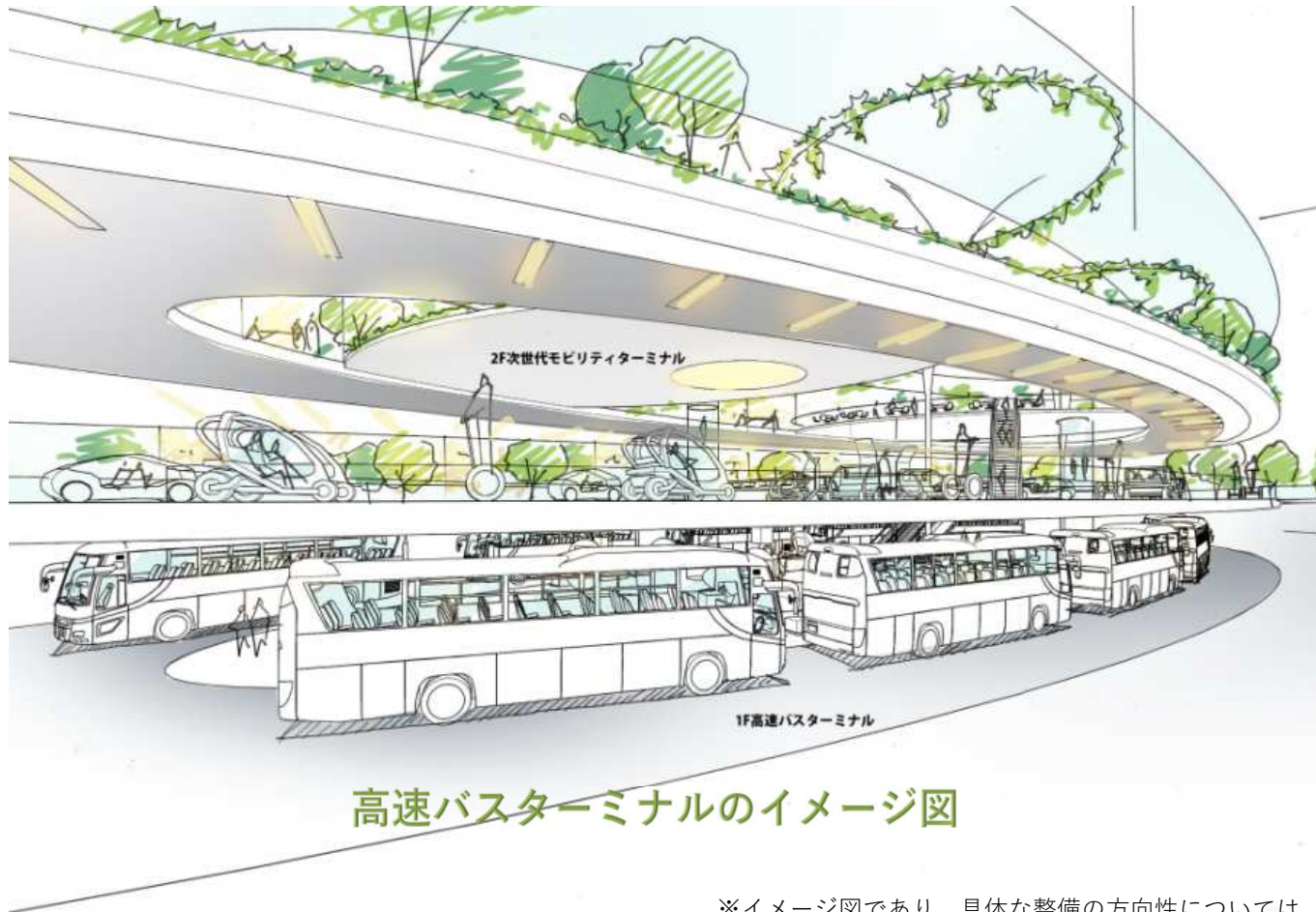
- 東北、上信越・北陸方面からの新幹線が集結する「大宮」は、西日本との玄関口となる「品川」と並び、東日本からの多種多様なヒト、モノが実際に集結して交流する最初の対流拠点であり、（中略）首都直下地震の発災時には首都圏の機能をバックアップするための最前線となる。
- このため、東日本のネットワークの結節点として連携・交流機能の集積・強化を図るとともに、災害時のバックアップ拠点機能の強化を図る。



出典:「首都圏広域地方計画 ～対流がもたらす活力社会の再構築～」プロジェクト参考資料(説明図表) (H28.3 首都圏広域地方計画協議会)

⇒以上の「首都圏広域地方計画」の記載事項を踏まえ、「大宮駅西口交通結節点」の機能について検討していくこととする。

7. 交通結節点で主に導入が想定されるモビリティ



パース：大宮国道事務所

※イメージ図であり、具体的な整備の方向性については、今後、関係者との検討を踏まえ、決定していきます。

■高速バス



写真：大宮国道事務所

■鉄道（新幹線・在来線）



写真提供：J R東日本



写真提供：J R東日本

■次世代モビリティ

パーソナルモビリティ



写真：photoAC



写真提供：WHILL

超小型モビリティ



写真提供：ピクスタ

多目的モビリティ



写真提供：ピクスタ

- 【イメージ図】

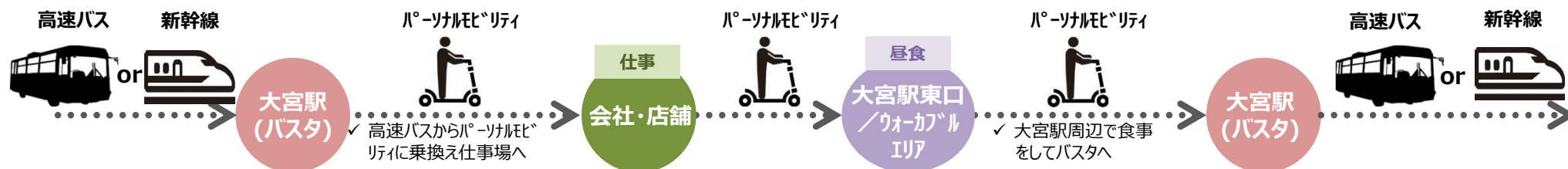


9. 将来の行動ストーリー

9

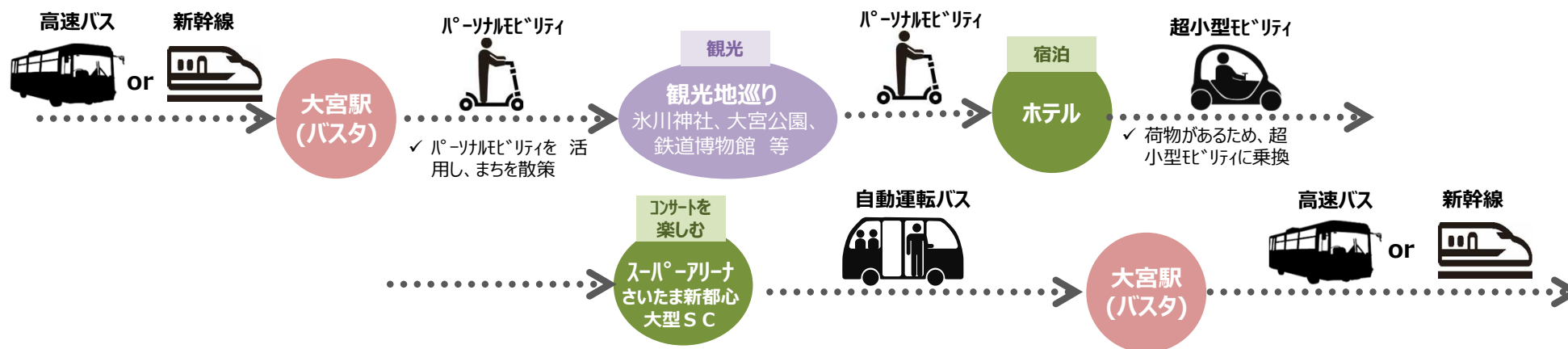
①出張の会社員（遠方⇒大宮）

- 遠方から仕事（出張）で大宮へ訪れる人の動き
- 仕事場までパーソナルモビリティで移動、仕事後に夕食を取って帰宅



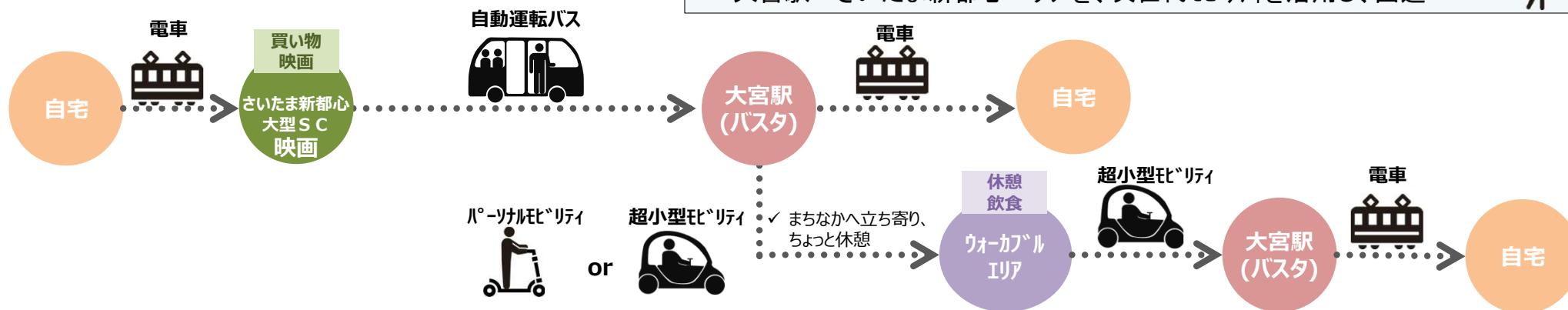
②イベント時来街者（遠方⇒大宮）

- 遠方に居住し、宿泊を伴い大宮に来訪する人の動き



③買い物・レジャー（大宮近郊⇒大宮）

- 大宮近郊に居住し、買い物・レジャー目的で大宮に来訪する人の動き
- 大宮駅～さいたま新都心エリアを、次世代モビリティを活用し、回遊



- 新幹線や高速バスが乗り入れる交通結節点である大宮駅において、鉄道やバスを活用した貨客混載による物流の効率化を支援する。
- 交通結節点を整備するのみでは無く、駅施設やまちづくりと連携する必要がある。

旅客鉄道を活用した貨客混載事例

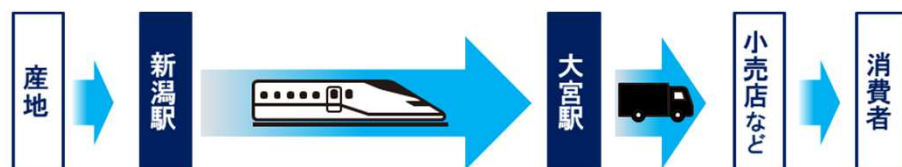
『はこビュンによる地域産業の流通拡大』

- 2021年11月に上越新幹線で昼過ぎに大宮駅に到着する臨時輸送サービスを実施し、「はこビュン」としてサービス開始以来の最大荷量となる合計約140箱／日を輸送

出典：JR東日本ニュース（2021年11月5日）



写真提供：JR東日本



輸送イメージ

※JR東日本ニュース（2021年11月5日）を参考に作成
https://www.jreast.co.jp/press/2021/20211105_ho03.pdf

高速バスを活用した貨客混載事例

『高速バスを活用した新鮮野菜の受渡し・販売』

- 日本最大のバスターミナル「バスタ新宿」より直通便が出ている地域を中心に、都内ではなかなか手に入らない地域の特産品を集めたマルシェを開催

《バスタマーケットの様子》



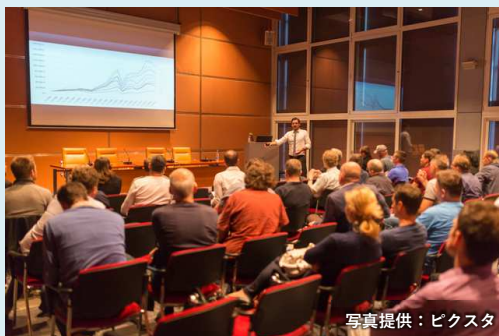
写真提供：東京国道事務所



- 平常時は、会議場や交通結節点が「賑わい」や「交流」を創出。
- 災害時は、「帰宅困難者の受け入れ空間」、「一斉帰宅を回避する空間」、「支援部隊の受け皿」となる。
- 交通結節点を整備するのみでは無く、まちづくりにおける機能分担を考慮する必要がある。

平常時（イメージ）

《会議施設/イベントホール》



- ・ 学会、セミナー
- ・ 式典、宴会
- ・ 各種イベント、パーティ

《エントランス・ロビー》



- ・ 休憩、待ち合せ
- ・ ミーティング
- ・ 喫茶、軽食

《ツアー系高速バス/次世代モビリティ/タクシー乗り場》



- ・ ツアー系高速バスターミナル
- ・ 次世代モビリティのポート

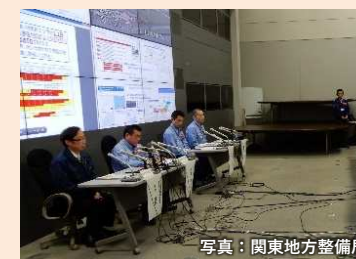
災害
発生

災害時（イメージ）

《会議施設/イベントホール》



- ・ 支援部隊の連絡拠点
- ・ 情報の集約・記者会見



《エントランス・ロビー》



- ・ 帰宅困難者の一次滞在施設
- ・ 支援・情報発信の拠点機能



《ツアー系高速バス/次世代モビリティ/タクシー乗り場》



- ・ 被災時に活用できるモビリティ空間（代行バスなど）

※記載内容については現時点での想定イメージであり、今後、関係機関との調整や各種防災計画等への位置づけなど、検討が必要